

CAMPUS COMMUNICATION

# CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】

2011

7 July

No.80



## 継承

「セロリ」通巻80号

◎夏の食中毒を防ぐために

◎平成22年度決算・平成23年度予算

# 継承

セロリは今回で記念すべき  
通巻80号を迎えた。

情報公開という大切な使命を担って、  
創刊号から23年。

多くの方の協力を得て、

また多くの読者に親しまれて

歴史を重ねてきたセロリ。

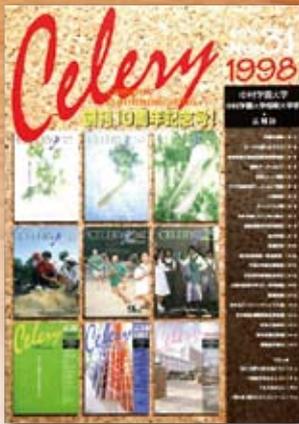
これまで同様、これからも、

学園の“今”を

お伝えし続けていきたい。



第1号(1988年)  
記念すべきセロリ創刊号



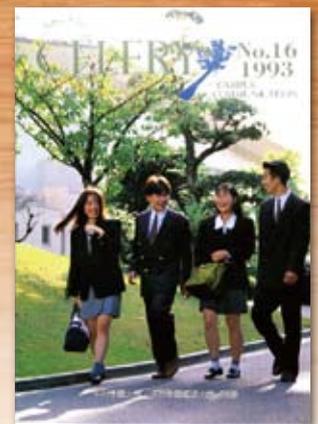
第31号(1998年)  
セロリ10周年記念号



第30号(1998年)  
中村学園短期大学を中村学園  
大学短期大学部に名称変更



第27号(1997年)  
セロリ第1回目の表紙  
リニューアル



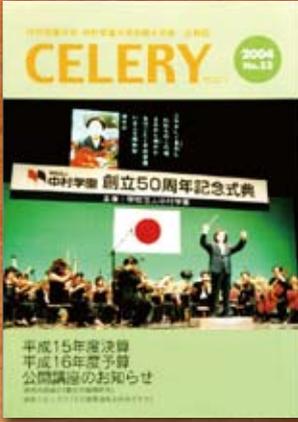
第16号(1993年)  
当時の制服

- 09 平成22年度 決算
- 07 平成24年度 入学試験のお知らせ
- 06 平成22年度 就職状況
- 05 活躍する卒業生
- 04 夏の食中毒を防ぐために
- 03 特別調理実習  
短期大学部 食物栄養学科
- 01 セロリ通巻「80号」

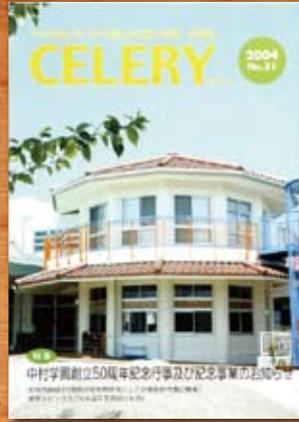
## CONTENTS

## 広報誌「CELERY(セロリ)」・通巻80号

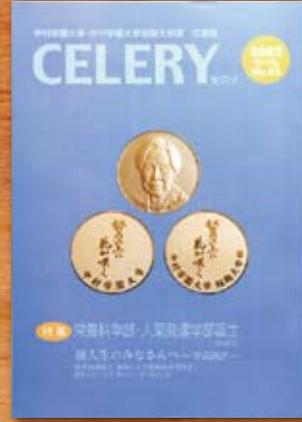
1988年に創刊した広報誌「セロリ」。それまでは、保護者を対象とする後援会だよりが年1回発行される程度でした。A4版の冊子形式は、当時の大学広報誌としては珍しいものでした。「セロリ」という名称は教職員に公募した結果決定。校章のデザインにも使われており、なおかつ、語感が良く、新鮮さ・清潔感といったイメージが浮かぶことなどが、多数の候補の中から選ばれた理由です。セロリは当初年3回の発行で、現在の年4回の季刊になったのは2001年からです。本学を良く知っていただくための広報誌として、これからも皆様にフレッシュな学園情報を提供していきたいと考えています。



第52号(2004年)  
学園創立50周年



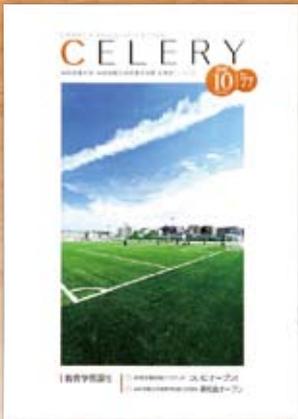
第51号(2004年)  
おひさま保育園誕生



第43号(2002年)  
栄養科学部・人間発達学部誕生



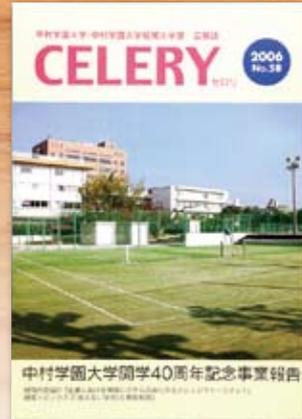
第36号(2000年)  
流通科学部誕生



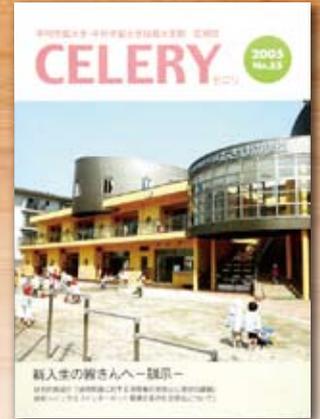
第77号(2010年)  
教育学部誕生・  
田島グラウンドオープン



第67号(2008年)  
新西2号館完成・食育館オープン



第58号(2006年)  
中村学園大学開学40周年



第55号(2005年)  
あさひ幼稚園の新校舎が誕生

# CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部  
広報誌【セロリ】

2011.7 July

No.80



18

EVENT and NEWS

16

流通科学研究所「国際セミナー」

15

クラブ & サークル  
軽音楽部

14

わがゼミ案内

短期大学部 キャリア開発学科

岩田 京子ゼミ

13

チャレンジするナカムラ生  
学生イベント実行委員長

11

平成23年度 予算



# 短期大学部 食物栄養学科 「特別調理実習」

セロリ1月号でご紹介した中村調理製菓専門学校における実習授業の続編をお届けします。

さらなる調理技術の  
向上を目指し、

中村調理製菓専門学校で  
再び学びを深めました。

昨年9月から今年1月にかけて行われた「特別調理実習Ⅰ」(全12回)の第2段階として、受講した学生の中からさらに実習授業を受講したいと希望する学生を対象に、今年の4月から7月まで「特別調理実習Ⅱ」(全12回)の授業を行いました。

「特別調理実習Ⅱ」の受講を希望した学生は約35名。特長は製菓コースと応用調理コースの2つのコースに分かれ、学生の希望に合わせてコース選択ができることです。どちらのコースも「特別調理実習Ⅰ」の基礎編をベースとした応用編としたカリキュラムが組まれており、より難度の高い授業内容となっています。「特別調理実習Ⅱ」は、Iと同様に、実技と筆記の試験が行われ、1単位を短期大学部で認定しています。

「特別調理実習」の一番の目的は、学生の調理技術のレベル向上ですが、「特別調理実習」のⅠとⅡの合計24回の授業に参加した学生からは、将来のために受講して良かったという声が多く聞かれました。

コメント

食物栄養学科主任  
松隈紀生 教授



食物栄養学科の新たな取組みとして昨年9月から行った「特別調理実習」も、この7月で1クールが終わりました。これから中村調理製菓専門学校とともに授業内容等を検証し、次回からの実習に反映させていきたいと考えています。

学生はいろいろな先生から調理技術を学ぶことで、自分なりに料理をアレンジする力が身に付きます。本学科卒業後はさまざまな進路がありますが、どこで働くにせよ、「特別調理実習」で学んだことは役に立つと思います。社会から「本学科卒の学生は調理技術が高い」と認められてきた伝統があります。その伝統をこれからも守っていききたいと思います。

## 〔製菓コース〕



学生の声

古川 菜育さん

お菓子作りが好きなのでこのコースを選びました。最初はちょっと大変でしたが徐々に慣れてきて、楽しく学ぶことができました。将来は保育園で働きたいと考えていますが、3時のおやつでおいしいお菓子を園児に提供できるようになりたいです。



## 〔応用調理コース〕



学生の声

伊藤 亜希子さん

引き続き調理を学んでスキルを高めたいと思いこのコースにしました。先生方にはとても熱心に指導していただき、和・洋・中をトータルにしっかりと学べました。保育園の栄養士を目指していますが、園児が笑顔になれるような料理を作ってあげたいですね。



# 夏の食中毒を防ぐために

夏は食中毒が起りやすい季節。そこで今回は、細菌性食中毒に関する研究を専門とされている食物栄養学科の小田教授に、食中毒のメカニズムと予防法についてお話を伺いました。正しい知識を知って、夏を健康に乗り切りましょう。

## 特に気をつけたい細菌性食中毒

食中毒の種類には、大きく分けて3つのグループがあります。一つはフグや毒キノコなどによって起こる自然毒食中毒。二つ目は、劇物に指定されているメチルアルコールや農薬を誤って飲んだ場合に起こる化学物質食中毒。そして三つ目は、サルモネラなどの細菌やウイルスによって起こる微生物食中毒です。私たちの日常生活で起こる食中毒のおよそ9割がこの微生物食中毒であり、O157（腸管出血性大腸菌）やノロウイルスなどもここに分類されます。微生物のうち、特に細菌は温度に左右されるため、気温が25℃以上になると急激に増殖。六月の梅雨ごろから9月まで食中毒が起りやすいのもこのためです。

微生物食中毒の中で最も多いのが、カンピロバクターという細菌によって起こるものです。カンピロバクターは食肉、とくに鶏肉に多く付着しており、生で食べた後加熱が不十分なまま食べてしまうと

食中毒を発症することがあります。

原因となる食材を食べてから発症するまでの間を潜伏期間と言いますが、カンピロバクターの場合は2〜5日と潜伏期間が長いのが特徴の一つ。症状としては腹痛や下痢、発熱などがありますが、カンピロバクターにはまれに毒性の強いものがあり、この菌により、ギラン・バレー症候群と呼ばれる、体の運動神経が麻痺して足や手が動かなくなる恐ろしい病気になることもまれにあります。その他には、O157などの腸管出血性大腸菌やサルモネラ菌、また夏場に多い腸炎菌プリオなどにも注意が必要です。

## 低温で保存し、中心までじっくり加熱

では、こうした食中毒を防ぐにはどうすればいいのか。食中毒予防には「つけない、増やさない、死滅させる」という3つの原則があります。中でも重視しなければならぬのが、菌を増やさない。そして

死滅させること。例えば生肉を扱う場合は、まず冷蔵庫などの低温で保存

し増殖を防ぐようにしましょう。調理する際は、しっかりと加熱することが鉄則。細菌は中心温度75℃で一分加熱すれば死滅しますし、菌はふつう表面に付着していますので、肉の側面をまんべんなく焼くことが大切です。ただ、ハンバーグや唐揚げなどは、中まで細菌に汚染されている可能性がありますので、時間をかけて中心までじっくり加熱する必要があります。

また、ユッケなどの生肉や生レバーなどは危険性が高い食品なので子どもさんやお年寄りには絶対に食べさせないことが大事です。

## 適切に対処すれば、食中毒は防ぐことができる

食中毒の予防は、食材だけでなく調理器具にも気を配る必要があります。生肉を切ったまな板で、そのままサラダ



用の野菜などを切ったりすると、そこから細菌の二次汚染が起きてしまう可能性も。まな板や包丁、箸やボウルなどの器具は、肉類を扱うものと野菜などを扱うものを、それぞれ別に分け、使用しただけすぐに熱湯で消毒したり、市販の塩素剤消毒薬を使用するのも予防や対策として有効でしょう。もちろん、食材を扱った自身の手もこまめに消毒することが大切です。

食中毒は正しい知識を持って対処すれば防ぐことができます。ぜひしっかり自己管理して、この夏を健やかに過ごしてください。



食物栄養学科

小田 隆弘 教授

# 活躍する卒業生

Graduate of Nakamura



学校法人博多学園 博多中央幼稚園 園長

有吉 利香さん

平成3年度中村学園大学 家政学部児童学科  
(現 教育学部児童幼児教育学科) 卒業

## 笑顔を大切に、子どもたちの心に寄り添える存在でありたい。

子どもと接する仕事がしたい。そう考えたのは幼い頃からでした。私に通っていた幼稚園の先生がとても優しく笑顔が素敵で、そんな先生に私もなりた

いと思っただけで、現在の仕事を指すきっかけとなりました。宗像第一幼稚園（現 博多のびっこ幼稚園）で担任、博多第一幼稚園で主任を経て、今は、博多中央幼稚園で園長を務めています。福岡市東区の全域から385名の園児が通園しており、元気な子どもたちと賑やかな毎日を過ごしています。

園長の仕事としては、予算管理や広報など経営に関わることが主な業務となります。ただ、園の経営を考えていく上でもやはり常に現場を知ることが大事だと思っていますので、私も他の先生たちと同じように、朝は「おはようござ

います！」と元気な声で園児を迎え入れ、いっしょに遊び、お話しし、近い距離でふれあうことを心がけています。

園児と接する上で大切にしているのは、一人ひとりと向き合いながら、子ども心に寄り添うということ。良いことをした時はしっかりと褒め、反対にダメなことをしたときはしっかりと教える。個々の存在を尊重し、じっくり向き合うことで、子どもたちの心身の成長をサポートしていきたいと考えています。

子どもたちが幼稚園で過ごす時間はわずか3年ですが、この短い期間の中で彼らには見違えるほど成長します。日々のなかで子どもたちの変化を発見し、無事、卒園式を迎える時の感動はひときわ大きく、この感動こそ幼稚園で働く一番のやりがいと言えるかもしれませ

ん。幼稚園教諭として20年働いてきましたが、最初の教え子はもう成人しています。これまでに幼稚園教諭という道を選んだ教え子と同じ職場で働くこともでき、そんな時は本当に感慨深いです。

今年から園長という大役を務めることになり、責任もますます大きくなりました。園児たちにケガや事故がなく安全に過ごせる環境を整えながら、健全やかな成長を応援していけるよう、常に広い視野を持つていたいと思っています。

中村学園大学に在学中は、熱心な先生のご指導のもと、多くのことを学ばせていただきました。今の職場である博多中央幼稚園には大学の実習で訪れたこともあり、「ぜひここで働きたい」と思ったのが、就職先を決める大きなきっかけとなりました。

「努力の上に花が咲く」。これは学園祖中村ハル先生の言葉です。私はこの言葉が大好きで、いつも胸に置いています。努力していれば、かならず実るものがある。そう信じて、これからも楽しみながら子どもたちとふれあえるこの仕事を頑張りたいと思っています。



有吉さんは園長として、「心豊かなたくましい子ども」を育てるために、園児一人ひとりの興味や関心を大切に保育を実践されています。

### 就職課コラム

子どもの頃の夢どおりの職業についた人のことが、うらやましくなることがあります。巨人のルーキー澤村に、サッカー長友。夢を追い続けることで努力を積み重ね、最高レベルのパフォーマンスで世間を勇気づける姿には、ただただ敬服するばかりです。

第一生命が全国の未就学児と小学生を対象に、22年にわたり調査を続ける「大人になったらなりたいもの」。初回1989年調査の女子第1位は「保育園・幼稚園の先生」で、ここ3年間も依然2位をキープ、安定した人気の高さがうかがえます。

本学では約900名の学生が幼稚園教諭や保育士を目指し学んでいます。小さな頃から先生になりたいと決めていた人もたくさんいることでしょう。いま、初志を貫徹しようと頑張る人と就職支援を通じてかわり合えることは、一流パーフォーマーを応援する気持ちに実は似ており、私が働く大きな励みになっています。



幼稚園教諭になって20年。「子どもたちの日々の成長をやりがいに感じ、これまで歩んできました」と語る有吉さん。



# 平成24年度 入学試験のお知らせ

## 入学定員および募集人員

### 中村学園大学

学部	入試種別	入学定員	推薦入学選考			試験入学選考		大学入試センター試験利用入学試験	外国人留学生試験	帰国子女試験	
			公募制	指定校制	併設校制	前期	後期				
栄養科学部		200	50	20	20以内	90	5	12	3	若干名	若干名
教育学部		220	80	-	15以内	100	5	15	5	若干名	若干名
流通科学部		220	25	45	40以内	85	5	7	3	10	若干名
合計		640	155	65	75以内	275	15	34	11	若干名10	若干名

### 中村学園大学短期大学部

学科	入試種別	入学定員	推薦入学選考				試験入学選考	外国人留学生試験	特別入学試験	社会人
			公募制	指定校制	(併設校制)	自己推薦制				
食物栄養学科		150	37	63	10以内	-	35	若干名	5以内	
キャリア開発学科		150	10	110	15以内	5	10	若干名	-	
幼児保育学科		190	75	60	15以内	-	40	若干名	若干名	
合計		490	122	233	40以内	5	85	若干名	若干名5以内	

1 推薦入学選考・試験入学選考の合計人数

上記以外に編入・転入学試験あり。詳しくは入試課まで問い合わせること。(入試課直通電話 092-851-6762)

指定校制推薦入学選考については別に定める。

## 推薦入学選考

### 出願資格

合格の場合、必ず入学することを条件とする。

(1) 向学心が強く、本学の教育方針に賛同する者。

(2) 調査書記載の「全体の評定平均値」が次の値以上の者。

中村学園大学 / 栄養科学部.....3.6以上 教育学部.....3.4以上 流通科学部.....3.4以上

中村学園大学短期大学部 / 食物栄養学科.....3.2以上 キャリア開発学科.....3.0以上 幼児保育学科.....3.2以上

(3) 平成24年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者で、学校長が推薦する者。

### 日程および選考科目

#### 中村学園大学 公募制・併設校制【栄養科学部・教育学部・流通科学部】

出願期間	平成23年10月31日(月)～11月9日(水) 締切日必着		
選考日	平成23年11月17日(水)		
選考科目	I	適性検査	9:30～10:30 60分
	II	小論文	11:15～12:15 60分
	III	面接	13:15～
選考場	本学(福岡)		
選考方法	調査書、適性検査、小論文及び面接による総合評価とする。なお、面接は学科の教育目的・目標に適合するか否かを重視する。		

指定校制【栄養科学部、流通科学部、食物栄養学科、キャリア開発学科、幼児保育学科】については、出願資格、入試日程、選考方法などを記載した入試要項を該当の各高等学校等に通知する。

自己推薦制【キャリア開発学科】の出願資格、入試日程、選考方法については、入試課まで問い合わせること。(入試課直通電話 092-851-6762)

#### 中村学園大学短期大学部

##### 公募制・併設校制【食物栄養学科・キャリア開発学科・幼児保育学科】

出願期間	平成23年10月31日(月)～11月9日(水) 締切日必着		
選考日	平成23年11月18日(金)		
選考科目	I	小論文	10:00～11:30 90分
	II	面接	12:30～
選考場	本学(福岡)		
選考方法	調査書、適性検査、小論文及び面接による総合評価とする。		

幼児保育学科の出願希望者は、選考において音楽実技テストを課さないが、幼稚園教諭や保育士を志す者として、入学時にバイエル教則本40番までを演奏することができ、かつコールユープンゲン3度音程を歌えることが望ましい。

合格者発表 平成23年11月25日(金)

本学に掲示する。学校長および本人宛速達便にて通知するほか、電話・携帯電話・パソコンを利用した合否案内システムでも行う。

## 試験入学選考(一般入試)

### 出願資格

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者。

(2) その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

なお、栄養科学部の試験入学選考(後期日程)を志願する者は、高等学校若しくは中等教育学校で「化学Ⅰ」又は「生物Ⅰ」を履修していること。

### 試験科目

#### 中村学園大学

学部	前期日程			後期日程				
	科目	時間	満点	科目	時間	満点		
栄養科学部	I. 英語【英語Ⅰ・Ⅱ】	11:00～12:00	60分	全学部	I. 英語【英語Ⅰ・Ⅱ】	10:00～11:00 60分		
	II. 選択科目 - 下記から2科目を選択 国語【国語総合(漢文を除く)】 数学【数学Ⅰ・Ⅱ、数学A】 化学【化学Ⅰ】 生物【生物Ⅰ】	13:15～15:15	120分 (300点満点)					
教育学部	I. 英語【英語Ⅰ・Ⅱ】	11:00～12:00	60分				II. 国語【国語総合(漢文を除く)】	11:45～12:45 60分
	II. 国語【国語総合(漢文を除く)】	13:15～14:15	60分					
	III. 選択科目 - 下記から1科目を選択 世界史【世界史B】 日本史【日本史B】 地理【地理B】 数学【数学Ⅰ・Ⅱ、数学A】 化学【化学Ⅰ】 生物【生物Ⅰ】	15:00～16:00	60分 (300点満点)					
流通科学部	I. 英語【英語Ⅰ・Ⅱ】	10:00～11:00	60分				II. 国語【国語総合(漢文を除く)】	11:45～12:45 60分
	II. 国語【国語総合(漢文を除く)】	11:45～12:45	60分					
	III. 選択科目 - 下記から1科目を選択 世界史【世界史B】 日本史【日本史B】 地理【地理B】 政治・経済 数学【数学Ⅰ・Ⅱ、数学A】	14:00～15:00	60分 (300点満点)					

### 日程および試験場

出願期間	前期日程		後期日程	
	時間	試験場	時間	試験場
平成24年1月6日(金)～1月20日(金) 締切日必着	平成24年2月1日(水)	流通科学部	平成24年2月17日(金)～2月28日(火) 締切日必着	栄養科学部 教育学部 流通科学部
平成24年2月2日(木)	栄養科学部 教育学部	平成24年3月5日(月)	栄養科学部 教育学部 流通科学部	
平成24年2月3日(金)	短期大学部			
試験場	本学(福岡)・山口・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島		本学(福岡)	

#### 中村学園大学短期大学部

学科	科目	時間	満点
食物栄養学科	I. 選択科目 - 下記から2科目を選択 英語【英語Ⅰ・Ⅱ】 国語【国語総合(漢文を除く)】 化学【化学Ⅰ】 生物【生物Ⅰ】	10:00～12:00	120分 (200点満点)
	II. 英語【英語Ⅰ・Ⅱ】	10:00～11:00	60分
キャリア開発学科 幼児保育学科	I. 英語【英語Ⅰ・Ⅱ】 II. 国語【国語総合(漢文を除く)】	11:45～12:45	60分 (200点満点)

### 合格者発表

前期日程 平成24年2月14日(火)

後期日程 平成24年3月13日(火)

本学に掲示する。また、電話・携帯電話・パソコンを利用した合否案内システム、及び本学公式ホームページでも行う。(合格者には、後日、合格通知を速達便にて送付する。)

大学入試センター試験利用入学試験（大学）

出願資格

次の(1)または(2)の要件を満たし、「平成24年度大学入試センター試験」において、本学が指定する教科・科目を受験した者。  
 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者。  
 (2)その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。  
 平成23年度大学入試センター試験の成績は利用できない。

出願期間及び選考方法

出願期間	前期日程 平成24年1月6日(金)～平成24年1月20日(金)
	後期日程 平成24年2月17日(金)～平成24年3月6日(火)
選考方法	・平成24年度大学入試センター試験の成績を基に判定する。 なお、平成23年度大学入試センター試験の成績は利用できない。 ・本学の個別学力試験は課さない。

試験科目

学部	種別	教科	科目	配点	合計
栄養科学部	前期日程	外国語	「英語(リスニングテストを含む)」	100点	300点 外国語、国語は100点に換算する。
		国語	「国語」	100点	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	100点 × 2	
	後期日程	理 科	「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」	100点 × 2	
		外国語	「英語(リスニングテストを含む)」	100点	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	100点 × 2	
教育学部	前期日程	外国語	「英語(リスニングテストを含む)」	100点	300点 外国語、国語は100点に換算する。
		国語	「国語」	100点	
		地理歴史・公民	「世界史B」又は「日本史B」又は「地理B」 「現代社会」又は「倫理」又は「政治・経済」又は「倫理、政治・経済」	100点	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	100点	
		理 科	「物理Ⅰ」又は「化学Ⅰ」又は「生物Ⅰ」又は「地学Ⅰ」	100点	
		外国語	「英語(リスニングテストを含む)」	100点 × 3	
	後期日程	国語	「国語」	100点 × 3	
		地理歴史・公民	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理、政治・経済」から1科目選択	100点 × 3	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	100点 × 3	
		理 科	「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」から1科目選択	100点 × 3	
		外国語	「英語(リスニングテストを含む)」	100点	
		国語	「国語」	100点	
流通科学部	前期日程・後期日程	外国語	「英語(リスニングテストを含む)」	100点	300点 外国語、国語は100点に換算する。
		国語	「国語」	100点	
		地理歴史・公民	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理、政治・経済」	100点	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」から1科目選択	100点	

合格者発表

前期日程 平成24年2月14日(火)

後期日程 平成24年3月13日(火)

本学に掲示する。また、電話・携帯電話・パソコンを利用した合否案内システム、及び本学公式ホームページでも行う。  
 (合格者には、後日、合格通知を速達便にて送付する。)

大学院入試日程

推薦入学選考

栄養科学研究科(博士前・後期課程)

人の健康に貢献できる栄養学の高度研究を目指す。

流通科学研究科(修士課程)

流通科学・経営を幅広く専門的に学び新時代の流通産業を担う人材を育成する。

人間発達学研究科(修士課程)

現代の保育・教育の分野に求められる専門性を高めた高度職業人を育てる。

昼夜開講制の実施

栄養科学研究科(博士前・後期課程)、流通科学研究科(修士課程)、人間発達学研究科(修士課程)で平日の昼間に加え、夜間に授業を開講しています。昼夜間の講義が自由に選択できるため、働きながら通学が可能です。

合格者発表

合格通知を速達便にて送付します。本学に掲示はいたしませんのでご注意ください。

研究科(課程)	出願期間	試験日
栄養科学研究科(博士前期)	平成23年6月27日(月)～平成23年7月15日(金)	平成23年7月27日(火)
流通科学研究科(修士)	平成23年9月20日(火)～平成23年10月3日(月)	平成23年10月15日(土)
人間発達学研究科(修士)		

試験入学選考

研究科(課程)	出願期間	試験日
栄養科学研究科(博士前期)	平成23年9月20日(火)～平成23年10月3日(月)	平成23年10月15日(土)
栄養科学研究科(博士後期)	平成24年1月23日(月)～平成23年2月3日(金)	平成24年2月18日(土)
流通科学研究科(修士)	平成23年11月21日(月)～平成23年12月2日(金)	平成23年12月17日(土)
人間発達学研究科(修士)	平成24年1月23日(月)～平成23年2月3日(金)	平成24年2月18日(土)

社会人特別入試

研究科(課程)	出願期間	試験日
流通科学研究科(修士)	平成23年9月20日(火)～平成23年10月3日(月)	平成23年10月15日(土)
人間発達学研究科(修士)	平成24年1月23日(月)～平成23年2月3日(金)	平成24年2月18日(土)

外国人留学生特別選考

研究科(課程)	出願期間	試験日
栄養科学研究科(博士前期)	平成24年1月23日(月)～平成23年2月3日(金)	平成24年2月18日(土)
流通科学研究科(修士)		

平成22年度決算は平成23年5月30日開催の理事会において承認され、評議員会に報告し、意見を伺いました。平成22年度は、第4次中期総合計画平成21年度～平成25年度(の2年目)として、学園各々が事業計画達成に向けて事業を行いました。その決算の概要は次のとおりです。

「資金収支計算書」 表1

- 1 学生生徒等納付金収入**  
学生生徒等納付金収入は53億3,615万円で、予算に対して894万円の増収、前年度に対しては3,654万円減少となりました。
- 2 手数料収入**  
手数料収入は1億8,340万円で、予算に対して2,774万円の増収、入学検定料収入は1億6,592万円となり、前年度に対して1,144万円増加しました。
- 3 補助金収入**  
補助金収入は13億8,672万円で、予算に対して1億5,888万円の増収、国庫補助金収入は、大学・短大に経常費補助金が4億9,899万円、私立大学等研究設備等整備費1,891万円、学生改革推進等補助金(GP)4,271万円、利子助成補助金7,611万円、女子高校に太陽光発電設置補助金1,392万円、私立高校に太陽光発電設置補助金6,644万円、利子助成補助金3,088万円交付されました。地方公共団体補助金収入は、高校・中学・幼稚園に経常費補助金等7億8,858万円交付されました。
- 4 資産運用収入**  
資産運用収入は1億4,615万円で、予算に対して2,789万円の増収、資金の効率的運用を図り、基金収入・受取利息・配当金収入が1億2,980万円となりました。
- 5 事業収入**  
事業収入は2億3,158万円で、予算に対して1,888万円の増収、中村学園事業部から寄付金3,000万円を受け入れました。
- 6 借入金等収入**  
借入金収入は7億円で、女子高校校舎新築工事にかかる借入。
- 7 前受金収入**  
前受金収入は12億1,466万円で、平成23年度入学生が増えたため、予算に対して1億1,082万円の増収となりました。
- 8 その他の収入**  
その他の収入は13億9,215万円で、予算に対して872万円の増収、女子中高校の校舎改築引当特定資産から繰入収入2億円、施設設備引当特定資産から繰入収入9億8,200万円、前期未収入金収入1億7,141万円となりました。
- 1 人件費支出**  
人件費支出は38億6,010万円で、予算に対して3,765万円減少、前年度に対しては1億2,896万円減少しました。退職金は1億7,521万円です。

- 2 教育研究経費支出**  
教育研究経費支出は12億1,119万円で、予算に対して9,264万円減少、前年度に対しては3億2,582万円減少しました。
- 3 管理経費支出**  
管理経費支出は5億2,991万円で、予算に対して2,392万円減少、前年度に対しては4,062万円増加しました。
- 4 施設・設備関係支出**  
施設・設備関係支出は15億7,661万円で、予算に対して11億3,152万円増加、有価証券購入支出は13億1,904万円となりました。
- 5 資産運用支出**  
資産運用支出は15億7,661万円で、予算に対して11億3,152万円増加、有価証券購入支出は13億1,904万円となりました。

「消費収支計算書」 表2

- 1 消費収入の部**  
消費収入のうち現物寄付金は3,900万円で、予算に対して1,714万円増収となりました。
- 2 借入金収入**  
借入金は7億3,743万円で、予算に対して2億8,087万円増収、前年度より4,359万円減少しました。
- 3 基本金組入額合計**  
決算は13億7,022万円で、予算に対して2,134万円減少しました。
- 4 消費収入の部合計**  
決算は62億3,040万円で、予算に対して3億2,211万円増収となりました。
- 1 減価償却費・教育研究経費(管理経費)**  
決算は8億3,768万円となり、予算とほぼ同額で、前年度より3,082万円増加しました。
- 2 資産処分差額**  
決算は1億9,816万円で、予算に対して22万円減少しました。固定資産除却損、大学・短大の西1号館の改造に伴う建物等、女子中高の既存建物・機器備品等の除却と有価証券の処分差額です。
- 3 消費支出の部合計**  
決算は66億3,937万円となり、予算に対して1億7,011万円減少となりました。
- 消費収支差額の部**  
当年度消費支出超過額は4億8,997万円となり、前年度繰越消費支出超過額37億1,545万円を加え基本金取崩額99万円を差し引くと翌年度繰越消費支出超過額は41億2,344万円となりました。帰属収支差額・帰属収入合計、消費支出の部合計は8億9,805万円となり、予算に対して4億5,098万円増加しました。

表1 平成22年度 資金収支計算書  
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

科 目	収入の部		
	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,327,210,000	5,336,156,480	8,946,480
手数料収入	155,660,000	183,406,270	27,746,270
寄付金収入	10,220,000	11,169,703	949,703
補助金収入	1,227,840,000	1,386,729,640	158,889,640
(国庫補助金収入)	(509,400,000)	(595,641,000)	(86,241,000)
(地方公共団体補助金収入)	(715,940,000)	(788,588,640)	(72,648,640)
(学術研究振興資金収入)	(2,500,000)	(2,500,000)	(0)
資産運用収入	118,260,000	146,150,094	27,890,094
資産売却収入	305,340,000	956,436,009	651,096,009
事業収入	219,700,000	231,588,827	11,888,827
雑収入	172,320,000	188,781,121	16,461,121
借入金等収入	700,000,000	700,000,000	0
前受金収入	1,103,840,000	1,214,663,900	110,823,900
その他の収入	1,383,430,000	1,392,159,244	8,729,244
資金収入調整勘定	1,340,450,000	1,390,762,494	50,312,494
前年度繰越支払資金	2,634,000,000	2,634,003,176	3,176
収入の部合計	12,017,370,000	12,990,481,970	973,111,970

科 目	支出の部		
	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,897,760,000	3,860,100,208	37,659,792
教育研究経費支出	1,303,840,000	1,211,197,819	92,642,181
管理経費支出	526,540,000	502,913,018	23,626,982
借入金等利息支出	26,850,000	26,825,540	24,460
借入金等返済支出	210,210,000	210,210,000	0
施設関係支出	2,869,890,000	2,856,780,200	13,109,800
設備関係支出	312,230,000	299,043,537	13,186,463
資産運用支出	445,090,000	1,576,614,451	1,131,524,451
その他の支出	338,170,000	340,791,000	2,621,000
(1,100,000)			
[予備費]	17,400,000		17,400,000
資金支出調整勘定	226,030,000	242,141,932	16,111,932
次年度繰越支払資金	2,295,420,000	2,348,148,129	52,728,129
支出の部合計	12,017,370,000	12,990,481,970	973,111,970

表2 平成22年度 主な施設設備の事業

区 分	事業内容
大学院・大学・短期大学部	田島グラウンド整備 ①野球場 ②サッカー兼ラグクロス場(人工芝) ③弓道場 ④クラブハウス ⑤側溝集水柵 ⑥ランニングロード ⑦防球ネット・夜間照明 西5号館空調機更新
女子中学校・高等学校	新校舎建設 ①設計監理料及び建築工事 ②新校舎と体育館連絡通路設置工事 ③新講堂屋上に太陽光発電設備工事 ④新校舎内自主テレビ放送設備工事 ⑤新校舎各教室ガラス黑板設置工事 ⑥新校舎機器備品 (生徒用机・椅子、教職員用机・椅子、特別教室 実験台・実験器具) 体育館ピロティ及びピロティ東側駐輪場改修工事 テニスコート東側駐輪場を駐車場へ改修工事 鳥飼西校地の駐車場整備工事
三陽中学校・高等学校	中学校給食に伴う工事等 ①ランチルーム設置工事 ②ランチルーム テーブル・イス ③ランチ用 配膳車、収納棚・ショーケース スクールバス買替
あさひ幼稚園	ランチルーム テーブル・イス 園児・大人兼用自動体外式除細動器
杏岐幼稚園	給食室空調設備設置工事 園児・大人兼用自動体外式除細動器

表 4

# 貸借対照表

平成23年3月31日

(単位/円)

資産の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定資産	37,277,666,571	35,659,709,402	1,617,957,169	
有形固定資産	28,168,582,933	25,982,127,931	2,186,455,002	
土地	11,125,674,230	11,081,022,730	44,651,500	
建物	13,917,815,607	10,327,413,703	3,590,401,904	
構築物	810,372,198	506,866,238	303,505,960	
教育研究用機器備品	723,038,873	596,198,528	126,840,345	
その他の機器備品	126,277,150	113,528,441	12,748,709	
図書	1,450,897,105	1,428,300,484	22,596,621	
自動車	7,508,770	10,438,307	2,929,537	
建設仮勘定	6,999,000	1,918,359,500	1,911,360,500	
その他の固定資産	9,109,083,638	9,677,581,471	568,497,833	
電話加入権	2,812,385	2,812,385	0	
有価証券	2,882,772,650	2,486,283,276	396,489,374	
収益事業元入金	20,000,000	20,000,000	0	
預託金	39,257,240	39,271,630	14,390	
長期積立金	440,100	440,100	0	
長期貸付金	9,000,000	15,000,000	6,000,000	
教育研究用ソフトウェア	14,352,320	18,869,760	4,517,440	
大学短大校舎改築引当特定資産	1,900,000,000	1,800,000,000	100,000,000	
女子中高校舎改築引当特定資産	0	200,000,000	200,000,000	
第3号基本金引当特定資産	910,786,040	835,241,417	75,544,623	
退職給与引当特定資産	1,388,900,000	1,388,900,000	0	
施設設備引当特定資産	1,940,762,903	2,870,762,903	930,000,000	
流動資産	2,888,534,148	3,205,186,075	316,651,927	
現金	2,348,148,129	2,634,003,176	285,855,047	
預金	49,399,439	100,011,516	50,612,077	
有価証券	294,109,180	294,109,180	0	
特定外信託金	188,703,914	171,460,111	17,243,803	
未収入金	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
短期貸付金	6,173,486	4,035,659	2,137,827	
前立金	0	566,433	566,433	
資産の部合計	40,166,200,719	38,864,895,477	1,301,305,242	
負債の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定負債	2,669,090,350	2,279,825,712	389,176,638	
長期借入金	1,226,090,000	806,300,000	419,790,000	
退職給与引当金	1,393,142,350	1,398,870,712	5,728,362	
長期未払金	49,770,000	74,655,000	24,885,000	
流動負債	1,842,278,091	1,828,202,132	14,075,959	
短期借入金	210,210,000	140,210,000	70,000,000	
未払金	262,991,273	334,617,514	71,626,241	
前受り金	1,214,663,900	1,202,104,100	12,559,800	
預り金	154,412,918	151,270,518	3,142,400	
負債の部合計	4,511,280,441	4,108,027,844	403,252,597	
基本金の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
第1号基本金	36,557,575,664	35,227,081,454	1,330,494,210	
第2号基本金	1,900,000,000	2,000,000,000	100,000,000	
第3号基本金	910,786,040	835,241,417	75,544,623	
第4号基本金	410,000,000	410,000,000	0	
基本金の部合計	39,778,361,704	38,472,322,871	1,306,038,833	
消費収支差額の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
翌年度繰越消費支出超過額	4,123,441,426	3,715,455,238	407,986,188	
消費収支差額の部合計	4,123,441,426	3,715,455,238	407,986,188	
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計				
	40,166,200,719	38,864,895,477	1,301,305,242	

注記事項

- 重要な会計方針
  - 引当金の計上基準
    - 徴収不能引当金
      - 債権の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上することとしている。
    - 退職給与引当金
      - 退職金の支給に備えるため、法人本部・大学・短期大学部は、期末要支給額1,384,767,000円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額の100%を計上している。
      - 高等学校以下は、期末要支給額1,214,360,000円から私学退職金団体からの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。
  - その他の重要な会計方針
    - 有価証券の評価基準及び評価方法
- 移動平均法に基づく原価法である。
  - 外貨建資産の換算基準
    - 外貨建長期金銭債権については、取得時の為替相場により円換算している。
    - 預り金その他の経過項目に係る収支の表示方法
      - 預り金に係る収入と支出は、相殺して表示している。
- 重要な会計方針の変更等について
  - なし
- 減価償却額の累計額の合計額
  - 9,944,037,515円
- 徴収不能引当金の合計額
  - 0円
- 担保に供されている資産の種類及び額
  - 土地 1,283,197,423円
  - 建物 478,185,665円
  - 計 1,761,383,088円
- 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額
  - 1,486,936,880円

# 「貸借対照表」

表 4

- 資産の部合計
  - 総額は4,016億6,220万円で、前年度より13億1,300万円増加しました。
  - ①固定資産
    - 土地は田島グラウンド整備により増加、建物女子高校校舎建築、構築物は取得により増加、教育研究用機器備品その他の機器備品図書は取得により増加。車輛は減価償却により減少、建設仮勘定は建物、構築物へ振替により減少。大学・短大校舎改築引当特定資産は組入れにより増加、女子中高校舎改築引当特定資産は校舎新築工事への充当より減少、施設設備引当特定資産は取り崩しにより減少しました。
    - ②流動資産
      - 現金は減少、有価証券は売却により減少、未収入金は国庫補助金が増加しました。
  - ②負債の部合計
    - 総額は45億1,228万円で、前年度より4万3,250万円増加しました。
    - ①固定負債
      - 長期借入金は増加し、長期未払金は減少しました。
    - ②流動負債
      - 短期借入金・前受金・預り金が増加、未払金は経常経費関係で減少しました。
  - ③基本金の部合計
    - 第1号基本金は、土地・建物・構築物等の取得13億3,049万円で、第2号基本金は、大学・短大校舎改築引当特定資産増加、女子中高校舎改築引当特定資産は校舎新築工事による減少、第3号基本金は、組入計

# 4 消費収支差額の部

画並びに寄付金により増加しました。翌年度繰越消費支出超過額は41億2,344万円となりました。

資産の部合計401億6,220万円から負債の部合計45億1,228万円を差し引いた純資産額は356億5,492万円となり、前年度より8億9,805万円増加しました。

以上が平成22年度決算概要ですが、消費収支計算書において大学・短大の田島グラウンド整備、女子高校校舎新築工事により、基本金組入額合計が増え、当年度の消費支出超過となり、帰属収支差額、帰属収入合計消費支出の部合計は8億9,805万円(11.9%)となり、第4次中期総合計画に掲げた最終年度の帰属収支比率10.0%を確保することが出来ました。(全国の同系法人平成21年度決算数値2.5%を上回っています。)

また、本年度は中村学園女子高等学校の校舎竣工に当たり同窓会から講堂に縦帳、廊下・教室に水仙のデザインが少く、卒業生並びに中村学園会会員から絵画の寄贈を受けました。また昨年に引き続き、中村学園の5つの基金に対して、学園各学校の卒業生、中学校教職員OB、事業部職員OBの多くの方から寄付金を賜り、厚く感謝申し上げます。今後もさらなる学生の満足度を高めつつ、教育研究の充実と財政の健全化に努めてまいりますので、皆様方のご協力とご理解を賜りますようお願いいたします。

表 3

# 平成22年度 消費収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位/円)

消費収入の部				
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金	5,327,210,000	5,336,201,480	8,991,480	
手数料	155,660,000	183,406,270	27,746,270	
寄付金	32,080,000	50,172,822	18,092,822	
(現物寄付金)	(21,860,000)	(39,003,119)	(17,143,119)	
補助金	1,227,840,000	1,386,729,640	158,889,640	
(国庫補助金)	(509,400,000)	(595,641,000)	(86,241,000)	
(地方公共団体補助金)	(715,940,000)	(788,588,640)	(72,648,640)	
(学術研究振興資金)	(2,500,000)	(2,500,000)	(0)	
資産運用収入	118,260,000	146,150,094	27,890,094	
資産売却差額	0	11,089,876	11,089,876	
事業収入	219,700,000	231,591,437	11,891,437	
雑収入	175,810,000	192,090,721	16,280,721	
帰属収入合計	7,256,560,000	7,537,432,340	280,872,340	
基本金組入額合計	1,328,370,000	1,307,029,811	21,340,189	
消費収入の部合計	5,928,190,000	6,230,402,529	302,212,529	

(単位/円)

消費支出の部				
科目	予算	決算	差異	
人件費	3,901,650,000	3,857,681,446	43,968,554	
(退職給与引当金繰入額)	(77,430,000)	(77,389,738)	(40,262)	
教育研究経費	2,060,370,000	1,971,670,818	88,699,182	
(減価償却額)	(756,530,000)	(755,608,571)	(921,429)	
管理経費	608,660,000	584,985,332	23,674,668	
(減価償却額)	(82,120,000)	(82,072,314)	(47,686)	
借入金等利息	26,850,000	26,825,540	24,460	
資産処分差額	198,390,000	198,168,949	221,051	
徴収不能額	50,000	47,610	2,390	
[予備費]	13,520,000		13,520,000	
消費支出の部合計	6,809,490,000	6,639,379,695	170,110,305	
当年度消費支出超過額	881,300,000	408,977,166		
前年度繰越消費支出超過額	3,715,460,000	3,715,455,238		
基本金取崩額	1,320,000	990,978		
翌年度繰越消費支出超過額	4,595,440,000	4,123,441,426		

平成23年度予算は、平成23年3月18日開催の評議員会及び23日開催の理事会において承認されました。平成23年度の予算編成は、第4次中期総合計画(平成21年度～平成25年度)の3年目として、中期総合計画に示す学校運営計画、学生目標、教職員計画の達成に重点をおきました。

私立学校を取り巻く環境は、少子高齢化、国立大学の独立法人化、長引く不況、公立高校の授業料無償化等で益々厳しくなる中、学生生徒等の確保が年々厳しい状況にあります。これらの環境の中で、財政基盤の安定を図るとともに、学生・生徒等の満足度に充分配慮し、建学の精神に基づき教育と研究の充実を図り、学生生徒等の確保と支出の効率化を図る予算を編成しました。

「大学院・大学・短期大学部」

大学・大学院

建学以来50年にも及ばんとする中村学園大学が建学の精神を根幹とし、本学に課せられた社会的使命を達成するため、以下の重点項目を基本方針とし、選ばれ続ける学校として存続を図る。

- 1 F Dの推進 本学学則第2条に則り、F Dの推進・自己点検・評価を図り、教育水準の向上に努める。
  - 2 教育・研究の一元化
  - 3 地域・大学間・産学・産官連携における既存のネットワークを一層充実させる。
  - 4 現在の中国・韓国等との国際交流事業を一層推進させ、連携大学を増加させる。
  - 5 大学院教育の高度化・実質化、修士・博士課程力リキラムを充実するとともに、社会人入学者も視野に入れた入学者増を図る。
- 短期大学部**
- 建学以来60年にも及ぶ中村学園短期大学部が、選ばれ続ける学校として存続するため、以下の重点項目を実施する。(大学・大学院の1から4に加えて)
- 1 教養教育・人間教育・専門教育・職業教育の有機的連携と三学科間の共通科目の充実を図り、四年制大学、専門学校にはない中村学園独自の短期大学士養成に努める。
  - 2 入試形態の大幅な見直しと現状に即した入試広報活動を検討・実施する。
  - 3 地域と密着した短期大学を確立する。
  - 4 短期大学の現状を視野に入れた定員是正と教員組織の点検を必要に応じて実施する。

〔収入の部〕学生納付金収入は前年度予算から減額を見込み計上、手数料収入は入学検定料収入を前年度と同数で見込みました。寄付金は企業からの研究助成金を見込み計上、補助金収入は、経常費補助金収入、学生教育推進G P補助、利子助成補助を計上、事業収入は、寄宿舎費収入、セミナーハウス利用料収入、栄養クリニック診療報酬を計上、雑収入は退職金財団交付金収入を計上しました。

〔支出の部〕教育研究経費支出は各研究者の基盤研究並びに学部ごとのプロジェクト研究の推進(健康増進センター(栄養クリニック)・薬膳科学研究所、発達支援センター、流通科学研究所の研究費を計上、海外の提携大学へ学生派遣、学生の就職活動支援強化で卒業生との交流、大学院生、学部学生への奨学金の充実、教員免許更新講習を計上しました。

管理経費支出では、経理システム更新費用を計上しました。

施設設備関係支出(表2)では、音楽館・体育館のバリアフリー工事・耐震補強工事などを計上しました。

「女子中学校・女子高等学校」

建学の精神を堅持し、「知」「徳」に優れ、わが国の社会の発展に貢献する女性の育成を行う。さらに、日本人としての自覚を持って世界に貢献する女性の育成をめざす。その為に、教員の一人ひとりが生徒を深く理解し、生徒の夢・希望の実現のために、今年度は次のようなことを基本方針とする。

- ① 授業評価や学校評価などを活用し、教員は生徒の学力向上に努める。
  - ② マナー教育を重視するとともに、水仙会活動・部活動・学校行事の活性化を行い、学校生活の充実のため全力で支援していく。
  - ③ 中高一貫教育のさらなる充実を図る。
  - ④ ボム・ベイジの充実などで情報の発信と広報活動を強化し、生徒数の確保を目指す。
  - ⑤ 運動場完成の年にもあたり、これまで以上に安全で安心な学校生活の確保に努める。
- 〔収入の部〕生徒納付金収入は平成23年度入学生から高校の入学時施設費を190千円に改定、中学・高校の維持充実費を月額9,000円に改定し、前年度予算から増加を見込み計上、補助収入は生徒数の増により増加を見込み計上、雑収入は私学教育振興会退職金交付金収入を計上しました。
- 〔支出の部〕教育研究経費支出は教員の海外

表 2 平成23年度 主な施設設備等の事業

区 分	事業内容
大学院・大学・短期大学部	音楽館・体育館耐震補強工事 音楽館・体育館エレベーター新設工事並びに音楽室・研究室等移転工事 音楽館空調機取替工事 西1号館空調機取替工事 地上放送デジタル化に係るアンテナ改修工事 西4号館4201講義室映像機器取替工事 出欠管理システム機器 経理システム機器更新 車輛購入
女子中学校・高等学校	グラウンド整備工事 ①設計・変更追加設計監理料 ②トラック新設工事 ③円盤投げ防護ネット設置工事 ④ランニングロード設置工事 ⑤部室、体育倉庫設置工事 ⑥照明設置工事 ⑦防球ネット設置工事 ⑧植栽工事 コンピュータ教室パソコンシステム増設 水仙寮地上放送デジタル化に係るアンテナ改修工事
三陽中学校・高等学校	生徒食堂の一部を中学生ランチルームに改修 コンピュータ教室パソコンシステム更新 地上放送デジタル化に係るアンテナ改修工事 ヨットの救助艇購入
あさひ幼稚園	地上放送デジタル化に係るアンテナ改修工事 ふじ欄拡張工事
吉岐幼稚園	地上放送デジタル化に係るアンテナ改修工事 南側園舎ひさし取付工事

表 1 平成23年度 資金収支予算書  
平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

科 目	収入の部		
	23年度予算額	前年度予算額	増 減 ( )
学生生徒等納付金収入	5,229,530	5,327,210	97,680
手数料収入	152,580	155,660	3,080
寄付金収入	6,620	10,220	3,600
補助金収入	1,249,240	1,227,840	21,400
資産運用収入	122,020	118,260	3,760
資産売却収入	93,880	305,340	211,460
事業収入	214,800	219,700	4,900
雑収入	105,470	172,320	66,850
借入金等収入	0	700,000	700,000
前受金収入	1,108,470	1,103,840	4,630
その他の収入	180,330	1,383,430	1,203,100
資金収入調整勘定	1,192,280	1,340,450	148,170
前年度繰越支払資金	2,295,420	2,634,000	338,580
収入の部合計	9,566,080	12,017,370	2,451,290

科 目	支出の部		
	23年度予算額	前年度予算額	増 減 ( )
人件費支出	3,951,930	3,897,760	54,170
教育研究経費支出	1,209,800	1,303,840	94,040
管理経費支出	451,910	526,540	74,630
借入金等利息支出	26,730	26,850	120
借入金等返済支出	210,210	210,210	0
施設関係支出	468,450	2,868,790	2,400,340
設備関係支出	205,730	312,230	106,500
資産運用支出	414,920	445,090	30,170
その他の支出	247,260	338,170	90,910
(予備費)	19,000	18,500	500
資金支出調整勘定	169,820	226,030	56,210
次年度繰越支払資金	2,529,960	2,295,420	234,540
支出の部合計	9,566,080	12,017,370	2,451,290

派遣研修・特進Vコースの進路指導強化、姉妹校交流、特技奨学生・育英奨学生への奨学金の充実を図ります。

施設設備関係支出 **表2** では、グラウンド整備工事等を計上しました。

「三陽中学校・三陽高等学校」

基本方針

- ① 知性・社会性・人間性を身につけた生徒の育成及びそのための教育システム作り。
- ② 各教科に、社会有為な人物を育成するためにはどのような教育内容を習得させるべきかを吟味、検討し、共通理解する。
- ③ 中学校から高校までの各学年にどのような生活習慣・態度や人格を身に付けさせるべきかを検討し、理念として定め、生徒に周知徹底させる。

〔収入の部〕生徒納付金収入は生徒数の減により減少を見込み計上、補助金収入は生徒の単価アップにより増加を見込み計上、雑収入に私学教育振興会退職金交付金収入を計上しました。

〔支出の部〕教育研究経費支出は外壁タイル補修工事、育英奨学金は中学生のガンバリ入試に伴う生徒数増により増加で計上しました。管理経費支出では、中学生1年・2年生の完全給食実施に伴い、給食用食器、給食食材、給食委託料を計上しました。

施設設備関係支出 **表2** では、ランチョウム空調設置等を計上しました。

「学園総合」

「資金収支予算」 **表1**

〔収入の部〕学生生徒等納付金収入は52億2,900万円を計上、前年度に比較して9,700万円の減収、補助金は12億4,900万円を計上、前年度に比較して2,100万円の増収、資産運用収入は1億2,200万円を計上、効率的な資産運用に努めます。事業収入(寄宿舎室料、セミナーハウス利用料等)は2億1,400万円を計上、前年度に比較して400万円の減収、前受金収入は11億8,000万円を計上、前年度に比較して400万円の増収、その他の収入は1億8,000万円を計上、前年度は田島グラウンド整備、女子高校校舎新築工事のため施設設備引当特定資産並びに校舎改築特定資産から繰入収入を11億8,200万円計上したため、前年度に比較して12億300万円の減収

当年度収入合計は72億7,000万円となり、これに前年度繰越支払資金22億9,500万円を加え、収入の部合計が95億6,600万円となり、前年度予算に比較して24億5,100万円の減収となります。

〔支出の部〕人件費は39億5,100万円を計上、前年度に比較して5,400万円増加、教育研究経費支出は12億9,000万円を計上、前年度に比較して9,400万円減少、管理経費支出は4億5,100万円を計上、前年度に比較して7,400万円減少、施設設備関係は4億6,800万円を計上、大学・短大の音楽館・体育館バリアフリー・耐震補強工事、女子高校グラウンド整備工事等を含め、**表2**のとおり充実を図ります。資産運用支出は4億1,400万円を計上、第2号基本金組み入れに1億円、第3号基本金引当資産組み入れに5,900万円、引当特定資産に2億5,500万円を積み立てています。当年度支出合計は70億3,600万円となり、前年度予算に比較して26億8,500万円減少となります。当年度支出合計に次年度繰越支払資金25億2,900万円を加え、支出の部合計95億6,600万円となります。

「消費収支予算」 **表3**

〔消費収入の部〕帰属収入合計が70億9,400万円となり、前年度に比較して1億6,100万円減収を見込みました。基本金組入額合計9億2,100万円を計上し、消費収入の部合計は61億7,300万円で消費支出に充当可能な収入です。

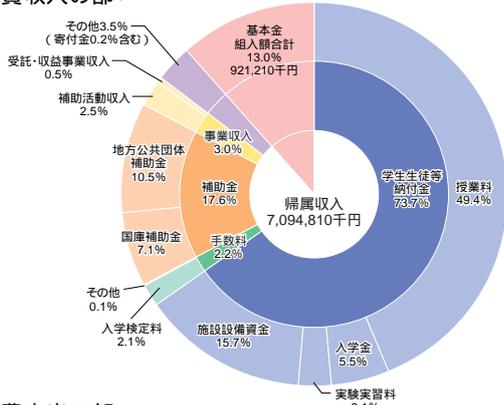
〔消費支出の部〕人件費は39億3,400万円を計上、前年度に比較して3,500万円増加、教育研究経費は20億5,200万円を計上、前年度に比較して700万円減少となります。教育研究経費と管理経費を合わせた減価償却額は9億2,400万円を計上、前年度に比較して8,600万円増加します。消費支出の部合計は65億8,600万円となり、前年度に比較して2億2,200万円減少となります。

当年度消費支出超過額は4億1,300万円となり、これに前年度繰越消費支出超過額45億9,500万円を加えると、翌年度繰越消費支出超過額は50億800万円となります。

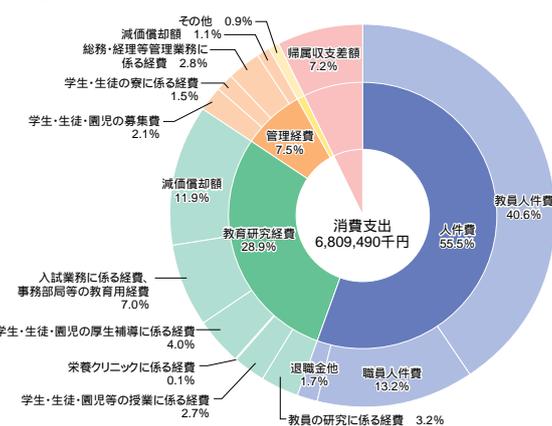
以上が平成23年度の予算概要ですが、ますます学生生徒等の確保が厳しくなる中で、財政基盤の安定を図るために予算執行に当たっては適正且つ厳正に努めます。

平成23年度 消費収支予算書の内訳

<消費収入の部>



<消費支出の部>



## 挑戦すること。それは限界を決めず、 自分の壁を打ち破ること

福岡都市圏にある大学の魅力を発信する「大学ネットワークふくおか」。  
その学生イベントを企画・運営する山元さんは現在、実行委員長を務めており、  
今年9月の開催に向け、新たな挑戦が始まっています。



さまざまなイベントを企画しながら  
福岡の大学の魅力を発信

イベントの開催などを通じて、福岡都市圏にある大学や地域の魅力を全国に発信する「大学ネットワークふくおか」。福岡商工会議所、福岡市、そして20の加盟大学によってつくられており、私はここで学生が主体となってイベントを実行する「好いとうよFUKUOKA」の代表を務めています。

「好いとうよFUKUOKA」は、学生の学生による「福岡市民」のためのイベント。年に一度、福岡市役所前の広場を使って、さまざまな催しを行っています。昨年は、折り鶴でギネス記録に挑戦。一般学生だけでなく、福祉施設で暮らす方や小学生、高齢者も多数参加いただき、折り鶴を長くつなぎ合わせながら、みごと2010mという記録を打ち出すことができました。

こうしたイベントは今年も9月に開催される予定。今回はダンスバトルやチャリテライブ、ファッションショー、1000人缶蹴りなどを企画しています。会場には加盟大学を紹介するブースを設け広報活動も行い、多くの人に楽しみながら大学の魅力を知っていただけたらと考えています。

キャンパスの外へ飛び出して得た  
多くの出会い、たくさんの刺激

実行委員の学生代表を務めるにあたって、たいへんだと感じるのは、やはり

みんなの意見を一つにまとめていくことだと思っています。大学によってカラーは異なります、学生一人ひとりの考え方も違うため、時には意見が対立することもあります。ですが、さまざまな思いやアイデアを出し合うことで、よりよい企画が生み出されていくのだと思います。また、そうしたやりとりのなかで絆も育まれ、だからこそイベントが無事に成功したときの達成感や感動もより大きくなるのです。

私はこのイベントに参加したことで、数々の出会いを得ることができました。中村学園大学のキャンパス内に納まるだけでなく、外へどんどん飛び出していくことで他大学の人たちとも積極的に知り合うことができ、多くの刺激を受けることができました。また、イベントの運営にあたっては企業に協賛をお願いしたりすることもあり、社会との関わりを体験する一つのきっかけにもなりました。そこには大きな責任が伴いますが、いろんな方と交渉していく中で少々のことではへこたれない強さが身につきましたし、他にも成長できたと感じる部分が多々あります。

これからイベント本番に向け更に忙しくなりますが、今はこの活動が楽しくて仕方がありません。挑戦すること。それは私にとって自分の壁を打ち破ること。限界は決めず「私ならできる」という自信を持って、これからもいろんなことにチャレンジしていきたいと思っています。



山元さん曰く「イベントの良さは、楽しんでいる人の顔が直接見られること」。



他大学の学生と力を合わせ、ギネス記録を達成した折り鶴。



福岡市にある20の大学が参加する団体の実行委員長を務める山元さん。「大役ですが、楽しむことをモットーに頑張っています」。

いつも明るく元気な先生です！

わが Welcome to Our Seminar  
ゼミ案内

短期大学部 キャリア開発学科 岩田ゼミ (2年生 14名)



# 英語を通して、 社会との関わりを深める

岩田ゼミの「English for career improvement」は、英語を通して生活や人生を豊かにしようというのが研究テーマ。現在はアジア太平洋子ども会議で用いられる公式文書の翻訳に挑戦しており、実践英語を学びながら社会との関わりを深めています。

授業が始まると、まず最初に行われること、それは学生数人による1分間スピーチ。最近読んだ本の感想や家族のことなど、テーマを自分で自由に選び、毎回、持ち回りで学生たちが発表します。「日々の生活で何かを発見したり気づきを見いだすことは、生活を豊かにしてくれるもの。また、そうした気づきを人前で述べる訓練は、社会でも必ず役に立ちます」と語る岩田京子先生。授業では多くの学生に発言を促し、学生自身が主体的に学べる環境をつくっています。

スピーチが終わると、いよいよゼミの本題に入ります。現在は「アジア太平洋子ども会議」の公式文書を用いて翻訳に挑戦。「アジア各国から送られてきた英文を、ボランティアとしてゼミ生たちが翻訳しています。公式文書ですので高度な英語力、そして日本語力が必要とな

(岩田先生の口癖)  
グルグルマル  
※授業で重要なポイントに  
マークを促す時の言葉

准教授 岩田京子 先生



りますが、自分たちの翻訳が実社会で活用されるため、学生たちもやりがいを感じているようですね」。

グループワークの間、学生たちは黙々と英文を訳し、その表情は真剣そのもの。「学生たちには単なる英文法ではなく、社会で使う英語、社会とつながる英語を学んでほしいと思っています」と語るように、社会とつながる、それが岩田ゼミを象徴する言葉の一つでもあります。授業以外にも学生たちは気になった新聞記事をノートにスクラップする、新聞ノートを作成しており、「毎日コツコツ続けることで、新聞を読む習慣が身につきました」「社会のニュースに関心を持つようになりました」と学生たち。その表情には、学びの中で得た充実感があふれています。

岩田先生の人柄について聞いてみると「いつも元気で明るいですね」「親身に耳を傾けてくださるので、質問も気軽にできます」と先生を慕う言葉。このゼミで学ぶことによって発言力がいたり、苦手な英語を克服できたと言語学生も少なくありません。

岩田先生は、「キャリア開発学科の『キャリア』という言葉には『仕事』のみならず、『生活』や『人生』という意味をも込めています。学生の皆さんにはこうした学びを通じて人生そのものを豊かにして欲しいですね。教員たちが見守るその表情には、笑顔とやさしさがあふれていました。



# クラブ & サークル

CLUB & CIRCLE

## 軽音楽部

◎部員数/91名

◎部長/熊崎 百合香  
(人間発達学部3年生)



部にはベースやギター、ドラム、アンプなどバンドに必要な楽器が一式揃っている。でも、ほとんどの学生が自前の楽器を持参。



楽器の初心者には、先輩たちが丁寧に教えてくれる。一人で3バンドまで掛け持ちできる。



一つの曲を共に奏でるとき、  
言葉を越えた一体感が生まれる

好きな音楽を楽しく、自由に演奏する、それが軽音楽部のルール。  
学園祭という大舞台での演奏に向け、  
部室では今日も熱心な練習が行われています。

「軽音楽部の入部資格は、音楽が好き」ということ、ただそれだけです。ここでは経験の有無は関係なく、みんな楽しみながら歌ったり演奏したりしています。そう語るのには部長を務める熊崎百合香さん。部員は現在90名を超え、数あるサークルの中でも人気の部として知られています。練習は月・水・金の午後と第1・3・5土曜日の午前中。部員たちは趣味の合うもの同士でバンドを組み、防音設備の整った部室で音を奏でています。「ジャンルはJポップからパンクロックまでさまざま。最初はハードロックにしか興味がなかった人も、ここで仲間の演奏する音楽を聴いているうちに、いつの間にか違うジャンルにも興味が出て、音楽の幅が広がる人も少なくないんです」。

定期演奏会は年5回行われており、それを目標に日々練習。最初はうまく合わなくても少しずつ腕は磨かれていき、本番でパーフェクトに演奏できたときの感動はとて大きいと言います。明るく個性的なメンバーが集まる軽



部長を務める熊崎百合香さんは(人間発達学部3年生)はボーカルを担当。

音楽部。「おとなしなかった人が、一緒に音楽をやっているうちに性格が明るくなつて、社交的になる人も多いですよ」と語る熊崎部長。共に演奏するたびにメンバー同士の一体感は高まっていき、音楽のもたらす力を日々実感していると語ります。部のモットーを聞いてみると「せっかく同じ趣味を持つ仲間が集まるのだから、音楽の楽しさを共有しながらも、礼儀やマナー、人への思いやりといった人間力もしっかり身につけてほしいと思います。私も入部当初からそうした部分を先輩に鍛えていただき、とても感謝していますから」。

夏が終われば11月には学園祭も始まります。大舞台での演奏を控え、部員たちの気合いは層高まっています。

中村学園大学流通科学部は、平成18年度に流通科学研究室を設置し、過去5回の国際セミナーを開催してきました。さらに平成20年度からは流通科学研究所として施設及びスタッフをより充実させて、西日本における流通科学研究及び教育の拠点を目指しています。

去る平成23年7月2日(土)には、本学・西2号館において、第6回「流通科学研究所国際セミナー」が開催されました。今回は、共通テーマを「食料の貿易自由化と各国の対応」と銘打ち、日中韓の著名な研究者を招待して講演が行われました。

当日は各界から約200名の方々にご参集いただき、各講演について多くの質問がなされ、活発な国際セミナーとなりました。

【共通テーマ】食料の貿易自由化と各国の対応

【講師紹介・解題】流通科学研究所 所長 甲斐 諭

【講演・テーマ】「食料の貿易自由化と日本の対応」  
 東京大学大学院 農学生命科学研究所 教授 鈴木 宣弘 氏

【講演・テーマ】「中国農産物市場と貿易の展望」  
 中国国务院発展研究センター 市場経済研究所 副所長 王 微 氏

【講演・テーマ】「食料の貿易自由化と韓国の対応」  
 韓国嶺南大学校自然資源大学 食品資源経済学科 教授 趙 錫辰 氏



チョウ スクジン 趙 錫辰 教授



ワン ウェー 王 微 副所長



鈴木 宣弘 教授



甲斐 諭 所長



平成23年度【第38回】

# 公開講座のお知らせ 「食を巡る文化」

受講料 無料

**A コース** 定員100名

10/8 土 開講式(挨拶)学長/藤本 淳  
 ●13:00~13:10(10分) 西2号館6階 2604講義室

**A-1 食文化を通じた英語コミュニケーション入門**

●13:10~14:30(80分) 西2号館6階 2604講義室

講師 短期大学部食物栄養学科 講師 津田 晶子 (英語教育学)  
 短期大学部キャリア開発学科 講師 トーマス.H.ケイトン (英語教育学)

**A-2 郷土のお菓子でおもてなし**

●14:50~16:10(80分) 中央南館2階 213栄養・調理学実習室

講師 短期大学部食物栄養学科 講師 料理師範、レジピどお土産 松隈 美紀 (調理学)

**B コース** 定員100名

10/15 土

**B-1 日本史の風景**  
 - 人に歴史あり、食にドラマあり -

●13:00~14:30(90分) 西2号館6階 2604講義室

講師 教育学部 教授 占部 賢志 (歴史学)

**B-2 栄養・食生活と生活習慣病**  
 - 久山町の栄養疫学研究から -

●14:45~16:15(90分) 西2号館6階 2604講義室

講師 中村学園大学 名誉教授 城田 知子 (栄養教育論、公衆栄養学)

**C コース** 定員100名

10/22 土

**C-1 食の変遷から21世紀の健康食を考える**

●13:00~14:30(90分) 西2号館6階 2605講義室

講師 栄養科学部 教授 大部 正代 (病態栄養学、臨床栄養指導)

**C-2 1に運動、2に食事...健康づくりエクササイズの基本知識**

●14:45~16:15(90分) 西2号館6階 2605講義室

講師 栄養科学部 講師 熊原 秀晃 (運動生理学、応用健康科学)



●お申し込み方法について(受講料無料) 定員になり次第、締め切らせていただきます。

●「官製はがき」または「Eメール」にて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、受講希望コース(講座毎ではなく、コース毎での申し込みとなります)を明記のうえ、右記の期間にお申し込みください。

※電話・FAXでの申し込み受付はいたしておりません。

※受講申込者からご提供いただく個人情報、受講票の発送、今後の公開講座開催に関する情報のご案内、公開講座の改善を目的とした統計資料を作成するためにのみ使用いたします。

各プログラムの受講お申し込み期間

A コース 8月18日(木)~9月28日(水)

B コース 8月18日(木)~10月5日(水)

C コース 8月18日(木)~10月12日(水)

●託児所のご利用について(利用料無料)

●公開講座の各コース開催日には、学内に託児所(ベビーシッター会社への委託)を設けております。利用を希望される方は、直接下記の委託先へお電話にてお問い合わせください。

●委託先 (株)テクノ・コーポレーション ※(社)全国ベビーシッター協会正会員  
 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-10 ☎0120-8000-29

●申込期限 8月18日(木)~各コース開催日の3日前まで

※開催日当日の申込不可※受付時間 9:00~18:00(日・祝日は休み)

なお、不測の事故に対応するため委託先が保険に加入いたしており、保険適用範囲以内では補償されますが、大学当局は事故の責任を負わないことを申し添えます。

●お申し込み・お問い合わせ先

中村学園大学 中村学園大学短期大学部 学事課「公開講座」係

〒814-0198 福岡市城南区別府5丁目7番1号 TEL. (092)-851-2531(代)

●Eメール n-kouza@nakamura-u.ac.jp

●ホームページ http://www.nakamura-u.ac.jp/

## 音楽館・体育館改修工事について

音楽館・体育館は昭和56年に建設され、約30年経過しています。このため、リフレッシュ工事等を実施して、学生の皆さんに「より親しまれる校舎」へ生まれ変わります。

### 工事概要

1. 内外装老朽化に伴う内外装の改修工事
2. 各音楽室を機能的に使用するための配置換え工事  
表現室、声楽室、多目的ホール、音楽準備室、研究室などが配置変えとなります。一部教室面積に変更があります。
3. バリアフリー対策としてのエレベータの設置
4. 耐震診断で補強が必要となった部分の耐震補強

### 工期

平成23年5月中旬～平成23年10月末日

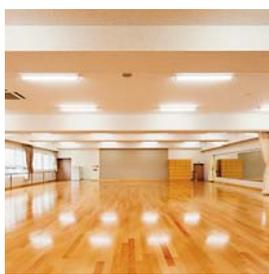
工事期間中は学生・教職員の皆様大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願いたします。



耐震補強工事・外装改修工事後の予想音楽館外観



バリアフリー対策工事  
(エレベータ15人用1基新設予定)



多目的ホールから改修された音楽館2階表現室。(平成23年6月完成)現在3階を改修工事中

## 付属幼稚園 だより



### (佐賀県 山中キャンプ場にて) 初めてのキャンプ

あさひ幼稚園 教諭 秀平花子

夏休みを前に年長組の子どもたちが心待ちにしていることがあります。それは、佐賀県富士町に所在する中村学園セミナーハウス『ほくさん』での1泊2日のわくわくキャンプです。初めて親元から離れる子どもが殆どなので、毎年このキャンプはまさに期待と不安でいっぱい2日間になるようです。

キャンプでは、北山の自然に触れることが一番の目的です。川遊びへ行き、川の水の冷たさを肌で感じます。時には水辺でカニを見つけ、逃げ回るカニを捕まえては、子どもたちも「みて～!!」と目を輝かせ満面の笑顔。夜は、満天の星空を眺めながら、キラキラと輝く星の美しさに目を奪われています。翌日は、竹パン作りにチャレンジ! 炭火で焼いたパンはとてもよい匂いがします。「おいしい!」と自分で作った喜びも同時に味わいます。敷地内にある芝生広場では解き放たれたように走りだし、トンボやセミを追いかけ始めます。こうした自然の中での学びは、きっと子どもたちの心の中につまでも残ることでしょう。

一方でもうひとつ、子どもたちの内に大切に育てたいことがあります。それは「自分のことは自分です」ということです。わずか1泊2日のキャンプですが、親元を離れて過ごすからこそ、日頃親にしてもらっていることに感謝する気持ちや家族がいる喜びを再確認できるのかもしれない。親元から離れることで育つこともまたあるということだと言えます。今年もまた、子どもたちは、キャンプを通してひと回り大きくなっていくことでしょう。そう言えば、夜の肝試しもありました…。もちろん子どもたちには...当日までナイショです!!

## NEWS

### 黒木優子さん 女子WBCユース・アトム級新王者!!



中村理事長(右)へ報告



世界ボクシング評議会(WBC)の世界ユース(18歳以上23歳以下)女子アトム級タイトルマッチ10回戦が7月8日、福岡市九電記念体育館で行われ、黒木優子さんがタイのノンキャット・ロングレンジーラ・コンケン選手(タイ)と対戦し、4回TKOで破り新王者に輝きました。2回・4回と左ストレートでダウンを奪い、最後は猛打でレフリーストップ。イメージ通り、落ち着いて戦えた」と地元の大声援も味方にして満面の笑みを浮かべました。今後は、あと1、2試合、ユースの防衛戦をして世界の頂点を目指すそうです。『世界チャンピオン』という夢に向かって頑張れ、黒木さん。



## 学校法人中村学園 創立記念式典 挙行



平成23年5月13日、  
本学体育館にて、学校  
法人中村学園の創立記  
念式典が挙行されまし  
た。

式では、学園祖中村  
ハル先生の生涯をつ  
づつたDVDが上映さ  
れた後、中村量一学園長から中村ハル先生  
の思い出や、建学の精神、東日本大震災復  
興におけるボランティア活動支援等につい  
て講話がありました。

また、GPA優秀学生（ ）の表彰も行  
われ、対象学生には藤本淳学長から表彰状  
と記念品が授与されました。



**GPA**：本学は、学業成績にGP（グレ  
イド・ポイント）制を導入しています。学  
生の成績は、秀・優・良・可・不可として  
評価されますが、この評価を優特優秀（  
4点・優3点・良2点・可1点・不可0  
点に点数化してGPとし、各履修登録科目  
のGPにそれぞれの科目の単位数を乗じた  
値の合計を、全履修登録科目の合計単位数  
で除してGPA（グレイド・ポイント・ア  
ベレージ）を算出します。この数値で、1  
単位当たりどれだけ高い学習効果をあげた  
かが評価できます。

## 中村学園大学短期大学部 同窓会奨学金奨学生証交付式

平成23年6月16日、中村学園大学短期大  
学部同窓会奨学金奨学生証交付式が行われ  
ました。この奨学金は短期大学部同窓会に  
よる奨学金制度で、学生寮に1年次から在  
寮する2年次生が対象となり、特に成績が  
優秀な学生に10万円が支給されるもので  
今年度、6名の短期大学部生が選出されま  
した。



交付式では、同窓会  
役員の方々と藤本学長、  
清水短期大学部長ら  
が見守る中、平川同窓会  
長から一人ひとりに奨  
学生証が授与されまし  
た。また、藤本学長か  
らお祝いの言葉が述べ  
られました。

## 平成23年度 後援会地区連絡会のお知らせ

今年も在学生の保護者を対象として、本  
学を含め九州内の8地区で開催いたします。  
連絡会では各学部・学科の教員はじめ担  
当職員が各地区へ出向き、本学の教育研究  
の近況報告とともに学修・就職状況に関す  
る全般的説明のほか、在学生の学修関係・  
学生生活・就職等に関するブースを設け、  
さまざまな相談に応じます。また希望者に  
は、教員による個人面談が行われます。こ  
の機会に多くの保護者の皆様にご参加いた  
だき、積極的に大学教職員や保護者の皆様  
同士で情報交換を行っていただければ幸い  
です。詳細につきましては、7月下旬に送  
付いたします案内資料をご覧ください。

【問合せ】 総務課

TEL 092 851 2559

## 公開授業（授業参観）を実施

平成23年6月6日から17日にかけて、公  
開授業（授業参観）が実施されました。こ  
の取り組みは、専任教員が担当する科目を  
教職員が参観し、自身の授業に取り入れた  
点や感想、アドバイスなどを相互に確認  
し合うことで、学生にとってより分かりや  
すい授業に改善していくことを目的にして  
います。今回は短期大学部（食物栄養学科  
キャリア開発学科、幼児保育学科）が開講  
する科目が対象となっております。また、今  
年度より、高大連携の一環として、併設校  
（中村学園女子中学校・高等学校、中村学  
園三陽中学校・高等学校）と大学との間で  
の公開授業（授業参観）も計画され、大学  
の教員が高校の授業を、また、高校の教員  
が大学の授業を参観するという取り組みも  
実施されました。

本学では、FD委員会、FD推進センター、  
FD推進委員会と各教育センターが連携し、  
全学的なFD（授業の内容及び方法の改善  
を図るための組織的な活動）に取り組んで  
います。

### 【開催日及び会場】

開催時間 13：00～16：00（受付は12：30から）

開催日	地区	会場
9月17日(土)	福岡(本学)	西1号館10階 大講義室
9月18日(日)	北九州	小倉リーセントホテル
	長崎(佐世保)	セントラルホテル佐世保
	熊本	アークホテル熊本
	鹿児島	ブルーウェーブイン鹿児島
9月19日(祝月)	佐賀	マリトピア
	大分	トキハ会館
	宮崎	エムアールティ・ミック

## 栄養科学部 「学生のための講演会」

平成23年6月18日(土)、本学にて、栄養科  
学部の「学生のための講演会」が開催され  
ました。

この講演会は、栄養科学部3～4年次生  
を対象に、平成23年3月11日に発生した東  
日本大震災の現場の状況や災害時における  
管理栄養士の役割を学び、意識を高めるこ  
とを目的に開催されました。被災の現場に  
直面された、盛岡大学栄養科学部長・前宮  
古市長の熊坂義裕先生が、「津波災害時の  
医療・糖尿病医療を中心として」管理栄養  
士への期待」をテーマに講演され、避難所  
生活での血糖コントロールの難しさを紹介  
されるとともに、「栄養は大切なことであ  
り、栄養学は医師と対等に戦える武器です。  
栄養学のエキス  
パートを目指して  
勉強に励んで欲し  
い」と学生に呼び  
かけられました。



熊坂義裕先生

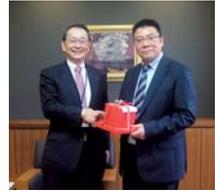
## 大学オリジナルグッズ販売 〜第三弾〜

平成23年4月より、丸善キャンパス  
ショップ中村学園大学店にて、大学オリジ  
ナルグッズの風呂敷（全4色）とタオルの  
販売が始まりました。



風呂敷は、丸いものや長いものなど包み  
方次第でさまざまな用途に活用でき  
ます。繰り返し使  
える環境にやさし  
いアイテムとして  
ぜひお試しください。

## 中国・上海中医薬大学が 本学を訪問



平成23年3月16日、  
学術交流協定校の中国・上海中医薬大学から、肖臻氏（国際教育学院長）、朱根勝氏が訪問され、本学の薬膳科学研究所との交流会や、肖臻氏による講演会、中医学体質形成の背景や、中医学的な体質の形成要素、中医学体質分類とその判定方法の他、中医学体質理論の予防医学における応用例についても紹介されました。

## 留学生新入生歓迎会

平成23年5月13日、本学食育館において、留学生、日本人学生、教職員の約100名が参加し、留学生の新入生歓迎会が行われました。

はじめに、藤本学長が歓迎の辞を述べられた後、留学生交流会を代表して劉会長から、留学生交流会の活動報告や今年度から流通科学部で始まったチューター制度の紹介、関係教職員へのお礼の挨拶がなされました。続いて、日本人学生を代表して合同学友自治会の川上さんから、流暢な中国語で、異国間交流を深めましようというエールが送られました。

中村理事長の乾杯の発声により懇談が始まり、留学生と教職員、日本人学生が食事やゲームを通して交流を深めました。



## インターンシップ報告会



平成23年5月19日、本学西1号館10階大講義室にて、短期大学部キャリア開発学科・第4回（平成22年度）インターンシップ企業実習報告会が行われました。報告会に先立ち、インターンシップに参加した50名の学生が、職場の良さや実習で学んだことを3分の動画作品で紹介し、今回は、その中から学内で最終選考に残った6作品について報告が行われました。報告会では、実習先企業、学内関係者、キャリア開発学科2年生が見守るなか、学生がそれぞれの就業体験について、自作の動画に解説を加えながら発表しました。今回発表を行った6作品から、報告会に参加した実習先企業の方々による審査で、最優秀作品1点と優秀作品2点が決定しました。



## 管理栄養士国家試験 合格状況

平成23年5月9日、平成23年（第25回）管理栄養士国家試験の合格結果が発表されました。本学の合格状況は、平成22年度栄養科学部卒業生229名全員が受験し、211名合格（全国第2位、西日本第1位）、合格率で92・1%と全国でもトップレベルの合格状況でした。

## 新入生宿泊研修

平成23年4月から5月にかけて、自然に恵まれた本学の施設『セミナーハウスほくさん』（佐賀県・北山湖畔）を利用し、新入生の宿泊研修が行われました。各学科毎に1泊2日の日程で、教学内容と関連する研修やスポーツ大会などが行われ、仲間と寝食を共にし語り合うことで、互いの新たな一面を発見するなど学生たちの親睦を深める場となったようです。



短期大学部幼児保育学科の宿泊研修の様子

## 博多祇園山笠集団山見せ

7月13日、博多の伝統行事である博多祇園山笠の昇き山を福岡地区へ披露する『集団山見せ』が行われ、中村量一理事長が名誉ある台上がりを務めました。沿道は大勢の見物客で埋め尽くされ、男衆の威勢のいい掛け声とともに山笠が疾走すると、大きな拍手と歓声が送られました。



台上右が中村理事長

## RKBハワイまつり企画イベント 第1回ワークショップ及び 「スパリゾートハワイアンズ」 パフォーマンス

平成23年9月4日、アクロス福岡にて催される福岡県・ハワイ州姉妹都市30周年記念イベント「RKBハワイまつり」フラダンスの舞台に本学の学生が参加します。

平成23年5月30日、本学第2体育館で、学生フラの参加者が、日本フラ界の第一人



カレイナニ早川先生



者カレイナニ早川先生から、直接指導を受け、初めての練習に臨みました。はじめ、学生たちは習った足のステップと手の動きに戸惑っていましたが、早川先生やスパリゾートハワイアンズの方々の指導を受けて、少しずつ足と手の動作に慣れていきました。



この日は、東日本大震災の復興のために全国巡業をしている、映画『フラガール』のモデルになった福岡県いわき市のスパリゾートハワイアンズも本学を訪れ、ハワイアンダンスを披露されました。衣装にはピンクや青などの鮮やかな色が使われており、華やかなパフォーマンスとなりました。

## 名誉教授称号記授与式

平成23年6月2日、本学・中央本館大会議室において、名誉教授称号記の授与と式が挙行されました。

今回、名誉教授の称号記が授与されたのは、栄養科学部で教授を務められた吉岡慶子先生です。吉岡先生は、図書館長や栄養科学部長など数々の役職を歴任され、長きにわたり本学の教育・研究の向上に尽力された功績が高く評価され、名誉教授称号記授与の運びとなりました。



## 教員の表彰

## 日本顕微鏡学会 学会賞（瀬藤賞）受賞



藤田 守 教授

平成23年5月17日、日本顕微鏡学会第67回学術講演会総会（於 福岡国際会議場）にお

いて、藤田守教授（栄養科学部）の「消化管粘膜吸収上皮細胞における分子吸収機序の電子顕微鏡による超微細形態学的研究」が、顕微鏡およびその応用に大きな貢献をしたとして日本顕微鏡学会賞（瀬藤賞）の応用研究（医学・生物学部門）分野で認められ、学会賞を受賞しました。この賞は、顕微鏡学において相当期間に

わたって高い水準の業績を挙げることに由り、学会に貢献した功績の顕著な個人に与えられます（学会賞選考規定より）。

## 第61回モダンアート展 佳作賞・ニッカー賞受賞



古賀 和博 准教授

6月21日～26日

福岡市美術館において開催された、第61回モダンアート展（デザイン部門）に古賀和博准教授（短期大学部幼児保育学科）が、出品した作品「Flexible Gates. 二」が佳作賞と、ニッカー賞を受賞しました。作品のコンセプトは、「変形のプロセスをデザインエレメントとし、素材の展開によって空間に構成される造形」です。作品は門の形のユニットが支軸で連結されて連なり、軸を中心にユニットが回転し角度が変わるため、不定形であることが特徴となっています。構造的な構造を視覚的に見せる狙いがあったため、結合用の穴を多数開け、ブロック玩具のように、組み合わせに自由度があることを特徴的に示すデザインとなっています。

## 日本栄養・食糧学 学術基金授与



大和 孝子 准教授

平成23年5月13日、東京で開催された第65回日本栄養・食糧学会大会

において栄養食糧学基金助成授与式があり、大和孝子准教授（栄養科学部）が日本栄養・食糧学学術基

金を授与されました。

この基金は、社団法人 日本栄養・食糧学会の創立50周年記念事業の一環として平成10年に創設されました。

## 第46回西部伝統工芸展 九州朝日放送賞受賞



永本 弘子 助手

2011年第46

回西部伝統工芸展において、永本弘子助手（教育学部・児童幼児教育学科）が木竹工部門に出品した木工作品黒

柿拭漆象嵌箱」が九州朝日放送賞を受賞しました。西部伝統工芸展は、6月1～6日福岡三越、6月15日～21日熊本鶴屋にて開催されました。



黒柿という素材を生かし、ユニークな形状をした箱の周囲には、黒檀、楓を使用した緻密な象嵌を施しています。

## 曙寮運動会

走って転んで  
深まる絆

中村学園大学の学生寮「曙寮」で、学生企画の運動会が行われました。当日の様子を寮生の角さんがレポートしてくれました。

平成23年5月15日、本学・体育館で第2回目の曙寮運動会が開催されました。昨年からは始まった運動会。1年生から4年生まで学年を越えた交流を通して寮生同士の絆を深めようという目的で始まりました。企画・運営は3年生が中心になり、約1カ月前からどうしたら「みんなに楽しんでもらえるか」、意見を出し合いミーティングを重ねて来ました。そして運動会当日。北棟チームと南棟チームに分かれ、障害物競走、ドッジボール、借り人競走、大縄跳び、全員リレーの順で競っていきました。

障害物競走ではピンポン球運び、平均台、ぐるぐるパット、パン食いをそれぞれクリアしていき、速さを競いました。ぐるぐるパットでは多くの参加者が千鳥足になり、悪戦苦闘していました。3つ目の競技が終わった時点で南棟チームの優勢。しかし、次の大縄競技では縄跳び回数が北棟チーム343回、南棟チーム177回と北棟チームが逆転。勝負はわからなくなりました。そして迎えた最後の競技、全員リレー。みんな必死に走り、応援にもいっそう力が入りました。結果は南棟チームの勝利。みごとに逆転し、第2回曙寮運動会は南棟チームの優勝で幕を下ろしました。

閉会式では優勝した南棟チームや南北チームの各「MVP」、「応援をがんばったで賞」や「すってんころりん賞」などが表彰され、賞状やエステ券などが贈呈されました。運動会の後には、寮において3年生の打ち上げも催され、楽しかった運動会は素敵なシメで終わりました。





## 教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、  
( )内は出版社、発行年月



### 「新 臨床栄養学 栄養ケアマネジメント」

大部 正代  
栄養科学部・教授 共著  
(医歯薬出版株式会社 平成23年2月)



### 「現代流通の基礎」

片山 富弘 流通科学部・教授 編著  
後藤 恵美 流通科学科・講師 共著  
(五経舎 平成23年3月)



### 「市場創造～顧客満足と リレーションシップ～」

片山 富弘  
流通科学部・教授 編著  
(学文社 平成23年3月)



### 「九州観光マスター 検定(新版)2級」

片山 富弘 流通科学部・教授  
清水 誠 キャリア開発学科・教授 共著  
(福岡商工会議所 平成23年4月)



### 「臨床栄養学実習 献立集」

今井 克己 栄養科学部・教授 編著  
近江 雅代 栄養科学部・准教授 共著  
森口里利子 栄養科学部・講師 共著  
吉田 弘子 食物栄養学科・准教授 共著  
(株式会社同文書院 平成23年4月15日)



### 「NEXT シリーズ 栄養薬学・薬理学入門」

古賀 信幸  
栄養科学部・教授 編著  
(講談社サイエンティフィック 平成23年3月30日)



### 「N ブックス 新版 食品衛生学」

古賀 信幸  
栄養科学部・教授 編著  
(建邦社 平成23年4月30日)



### 「海洋少年団の組織と活動 戦前の社会教育実践史」

圓入 智仁  
幼児保育学科・准教授 単著  
(九州大学出版会 平成23年5月)

## 平成23年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付決定

独立行政法人日本学術振興会から交付される平成23年度科学研究費補助対象研究が次のとおり決定しました(平成22年度からの継続分は除く)。

なお、交付決定件数は、新規9件・継続13件の計22件でした。

### 基盤研究(C)

平成23年度交付予定額(直接経費+間接経費)

[研究者] 津田 博子 教授(大学・栄養科学部)  
[研究課題名] メタボリックシンドロームの向血栓性予防の新たな治療的戦略の確立  
[交付予定額] 2,470,000円

[研究者] 望田 研吾 教授(大学・教育学部)  
[研究課題名] イギリスのフリー・スクールに関する比較教育学的研究  
[交付予定額] 2,340,000円

[研究者] 井上 能孝 講師(大学・流通科学部)  
[研究課題名] イギリスのパートナーシップ型事業体の法理論  
[交付予定額] 1,040,000円

[研究者] 森脇 千夏 准教授(短大・食物栄養学科)  
[研究課題名] 骨密度と栄養摂取および食物消費構造との関連についての縦断研究  
[交付予定額] 910,000円

[研究者] 津田 晶子 講師(短大・食物栄養学科)  
[研究課題名] 地域の国際化に貢献する栄養士養成のためのESP: ニーズ分析と教材開発  
[交付予定額] 260,000円

### 挑戦的萌芽研究

[研究者] 山田 朋子 講師(大学・教育学部)  
[研究課題名] 認定子ども園の教育・保育実習における「自己・実習評価票」の開発  
[交付予定額] 130,000円

### 若手研究(B)

[研究者] 時藤 亜衣 助手(大学・栄養科学部)  
[研究課題名] 黒大豆ゲルの共分散構造分析による嚥下食への展開  
[交付予定額] 780,000円

[研究者] 西山 敦子 助手(大学・栄養科学部)  
[研究課題名] 認知症と糖尿病の関係を探る - 脳内神経伝達物質を指標として -  
[交付予定額] 1,560,000円

[研究者] 石黒万里子 講師(大学・教育学部)  
[研究課題名] 戦後幼稚園教育成立期における幼稚園と小学校の接続に関する研究  
[交付予定額] 520,000円

## 外部資金受入れ状況

### 受託研究

[研究者] 原 孝之 教授(大学・栄養科学部)  
[研究課題名] 糖尿病を予防する植物の単細胞化ペースト食品の開発 低GI効果の検討  
[企業名] 株式会社久留米リサーチ・パーク  
[金額] 1,050,000円

### 研究助成

[研究者] 大和 孝子 准教授(大学・栄養科学部)  
[研究課題名] 脳内神経伝達物質を介した茶葉カテキンによる糖尿病性うつ病予防に関する研究

[機関名] 社団法人日本栄養・食糧学会  
[研究分担者] 西山 敦子 助手(大学・栄養科学部)  
平山 隼人(大学院栄養科学研究科・博士前期課程大学院生)  
[金額] 1,000,000円

[研究者] 三成 由美 教授(大学・栄養科学部)  
[機関名] 公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団  
[研究課題名] 国際薬膳公開講座 第10回記念大会  
[金額] 250,000円

[研究者] 佐々木久美 常勤助手(短大・食物栄養学科)  
[機関名] 財団法人エリザベス・アーノルド富士財団  
[研究課題名] 共役リノール酸(CLA)強化パンの開発に関する研究  
加熱におけるCLA増加機構の解明  
[共同研究者] 太田 英明 教授(大学・栄養科学部)  
[金額] 900,000円



# 元気 集まれ小学生

## ～食育・給食の～ 中村学園三陽中学校

夏休み宿題おまかせ  
**8/2**火・**3**水 **入試説明会** 第1回 **10/1**土・第2回 **10/22**土・第3回 **11/19**土  
 キッキング **9/23**祝  
 申込方法・問い合わせノ直接、三陽中学校に電話又はFAXで。  
 tel.092-882-6611 fax.092-882-4387  
 今すぐアクセス！▶ [www.nakamura-sanyo.ed.jp](http://www.nakamura-sanyo.ed.jp)

### 中村学園女子中学校・高等学校

新校舎・新グラウンド完成

# OPEN CAMPUS

**8/27** 9:30～11:30

#### 高校特進Vコース・育英奨学金説明会 説明会

特進Vコースは国公立大学進学を目標とするコース。京都大学や九州大学などの国公立大学への合格者を出しています。

このコースの生徒には入試の成績に応じて支給される育英奨学金制度があります。説明会では、コースの教育の特色や奨学金制度について詳しくご説明します。

**9/3** 9:30～12:30

#### 高校第2回学校見学会 見学会

学校紹介・設置するコースの紹介や模擬授業体験のほか、テレビで活躍中の山本華世さん(本校卒業生)のトーク、部活生によるアトラクションなど中村学園女子高校の魅力のすべてを紹介するイベントです。



**9/17** 9:30～12:30

#### 中学校第2回説明会 説明会

6年間の中高一貫教育で、「知」「徳」に優れた女性を育てる女子中学校の教育方針や魅力を丁寧にご説明します。

**TOPICS 特進Vに“スーパー”新設!!**

国公立大学進学希望者を対象としたVコースの中で、さらに九大以上のレベルにある国立大学受験を目指す生徒を対象とした「**スーパー特進Vコース**」を24年度から開設します(定員30名)。詳細については、説明会配布資料やパンフレットをご覧ください。

### 中村学園女子中学校・高等学校

〒814 0103福岡県福岡市城南区鳥飼7丁目10番38号  
 FAX 092 831 0985 [ホームページ] <http://nakamura-njh.ed.jp/>

オープンキャンパスのお問い合わせは  
**TEL 092-831-0981**

# NAKAMURA OPEN CAMPUS SUMMER.2011

8/6<sup>sat</sup> & 8/20<sup>sat</sup>  
10:00 ~ 16:30

ナカムラに出会える日：

ナカムラに着いたら、まずは受付へ!!

毎年趣向を凝らした模擬授業!

案内図を見ながら自由に見学してね!

ランチタイムも体験できます!

- PROGRAM**
- 模擬授業
  - クラブ・サークル紹介
  - スタンプラリー
  - 入試・学生生活相談
  - 先輩たちとの交流……など
- \*プログラム内容は、都合により変更になる場合があります。



- 事前予約 不要
- 入退場 自由
- 保護者の方も大歓迎
- 自由見学 OK

熊本や鹿児島にお住まいのみなさん!  
九州新幹線でオープンキャンパスに来ませんか?

博多シティOPEN!  
**九州新幹線全線開通!!**

熊本 → 博多 33分  
鹿児島中央 → 博多 79分



地下鉄天神南駅から9分という近さ。都市部に位置し、利便性もバツグンです。

駐車スペースがありませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

**中村学園大学**  
Nakamura  
**中村学園大学短期大学部**

【お問い合わせ先】 入試課 / 〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1  
【TEL】 092-851-6762 (入試課直通)  
【E-mail】 nyushi@nakamura-u.ac.jp 【URL】 <http://www.nakamura-u.ac.jp/>

**広報誌セロリの定期購読について**

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。保護者の方には毎号送付しています。

[申込み先]  
〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1  
中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係